

## あ と が き

本年度2冊目のVoL. 9 No 2 (20号)をお届けします。国会の混乱で予算編成が遅れていますが、いよいよ保険診療改定の年です。

- 稲生名誉会長には、誠に率直なお話を伺うことができたと思っております。私には参考になるところが幾つも有りました。会員諸兄はいかがでしょう。
- 牧角先生より、鹿児島風水害の医療現場報告をいただきました。災害時救急透析医療システムの充実に大いに参考になると思われま。
- 災害時救急透析医療システム委員会の精力的調査により、要介護・社会的入院透析患者の全貌が明らかになりました。多面的問題を内包していると思われまますが、一刻も早い対応策の構築と実施が期待されま。
- 第6回日本透析医会シンポジウムー血液浄化器の機能的分類と適応病態ーについて、諸々の事情で、各口演の膨大な量の原稿、スライドを掲載できず残念です。今後検討を要すると思われま。かわって、阿岸研修委員長にまとめをお願いしま。
- 四国、奈良透析研究会。地方の研究会も活発です。

ご寄稿いただいた会員諸兄、多大のご協力とご助言をお願いした広報委員会委員各位に感謝申し上げます。

(広報委員長：奥田健二)